

トヨタの ランドクルーザー80

いまなおSUVの
最高傑作との呼び声高し

「ランドクルーザー」は最強の“足”だ。街も山も海も川も走る。悪路もいける。有事の際にもこれがあれば安心じゃないかと思えるほどだ。ここまでシンプルにストレートに車本来の役割を果たす車はなかなかない。その純潔さに人は惹かれるのだと思う。「ランドクルーザー」には年代別にシリーズがあるが、中でも「80（ハチマル）」は優秀だ。「60（ロクマル）」まではどこか貨物車然としたところがあるが、「80」からは乗り心地が格段に向上了。走破性と快適性を同時に叶えている。本来角目のヘッドライトを丸目に変更したりして「60」フェイスに変えて遊ぶのもツク。人生で一度は乗ってみたい、日本が世界に誇る普及の名車だ。

ランドクルーザー80 オープン価格(トヨタ／問：フレックスドリーム 調布店☎042-486-8887)



「僕がハチマルラン子と別れられない理由」

ハチマルラン子と付き合って約4年が経つ。ハチマルラン子はひと言でいうと「お金のかかる女」だ。三日に一回（個人差はあるが）約一万円分のガソリンを飲むし、たまに「身体の調子が悪い」と言ってちょーが付くほど不機嫌になる。その都度彼女をエステ付きの整備ホテルに泊めてやらなければならず、そこでの出費がまた僕と僕の財布を苦しめるのだ。「早く別れちゃいなよ」と友達は言うが、僕は今までもハチマルラン子と別れられずにいる。理由はただ一つ、抱き心地が最高だからだ。たまに代車としてやって来るタイプでもないどうでもいいやつを抱くこともあるが、イマイチ相性も合わないし、調子が良すぎてつまらないし、まず乗つて気持ち良くなから浮気する気にもならない。そんな気持ちを知つてか知らずか、ハチマルラン子はエステから帰つてくるとまた適度に丸みを帯びた最高のボディーで僕をイカしてくれるのだ。

ハチマルラン子には、ヨンマル、ロクマル、ナナマル（正確にはもつとたくさんいるが）といつたお姉さんたちがいて、それぞれみんな顔もよくてスタイルも格好いいが、ハチマルラン子によるとみんな性格に難がありお金使いも荒いため、付き合つても長続きしないようだ。やはり僕はこのコにしてよかつた、ハチマルラン子を抱きながら、僕は心からそう思つてゐる。